

伝熱管漏えい推定メカニズム

管板内での伝熱管外面(A部)の初期傷が進展、貫通し開口した。この開口部から給水が流出し、管板端面付近(B部)が浸食され減肉、開口するとともに、隣接伝熱管(C部)が減肉、開口したものと推定される。

